

研究拒否者の情報提供：

本研究協力機関においては、症例群及び対照群において、本研究参加に協力いただけなかった場合もしくは個人情報の愛媛大学への提供を拒否された場合、患者シートに同意を得られなかった症例群及び対照群の候補者の年齢と性別を記入し、本研究事務局に知らせる（電子メールやFAX）。

6. 研究の科学的合理性についての根拠

潰瘍性大腸炎の発症と関連する環境要因及び遺伝要因、さらにはそれらの相互作用を調べることができる日本で最初の症例対照研究である。日本人におけるエビデンスを創出でき、本研究はグローバルな観点でも極めて学術的価値のある貢献をすることができる。

7. インフォームド・コンセントを受ける手続き

研究協力医療機関で、研究参加と愛媛大学への個人情報の提供に関する同意を得る。

愛媛大学内研究事務局より研究対象者に研究目的等について記載した資料を用いて電話で説明を行い、書面による同意を得る。一旦同意した場合でも、参加者が不利益を被ることなく研究参加の協力を拒否できる機会を保障する。

研究代表者と業務の範囲と責任を明らかにする契約を締結した研究事務局スタッフがインフォームド・コンセントを受けるのに必要な説明を行い、その他インフォームド・コンセントを受けるのに必要な業務を行う。

対象者が研究参加に賛意を示しているものの行為能力に制限があり、有効なインフォームド・コンセントを与えることができないと客観的に判断され、やむをえず代諾が必要な場合は、同意書署名欄の下に代諾の理由と、代諾者の研究対象者との関わりを明記する。代諾者選定の基本的考え方は、後見人や保佐人、配偶者、父母、成人の兄弟姉妹若しくは孫、同居の親族又はそれらの近親者に準ずると考えられる者とする。

未成年者の対象者については、親権者等の代諾者からインフォームド・コンセントを受ける。その際、同意書署名欄の下に代諾の理由と、代諾者の研究対象者との関わりを明記する。当該研究対象者が中学校等の課程を修了している又は16歳以上の未成年者であり、かつ、研究を実施されることに関する十分な判断能力を有すると判断されるときは、当該研究対象者からもインフォームド・コンセントを受ける。

研究対象者には同意撤回の機会を保障し、それを担保するため、研究事務局に研究対象者の問い合わせに対応する窓口を常設する。研究事務局において同意撤回内容（どの試料・情報についてどのような撤回を希望されているのか）

を確認し、該当する調査資料・生体試料を廃棄する。なお、学会などで発表されたデータ、研究用のデータセットとしてすでに固定されてしまったデータなど、廃棄作業が極めて過大であったりする等の事情により破棄できないことがあることを前提に同意を得ておくものとし、どのような廃棄処理を行ったかについては文書で回答する。

8. 個人情報等の取り扱い

研究事務局が収集した質問調査票、生体試料の持つ情報等の個人情報は、研究対象者に危険や不利益が及ばないように厳格に管理する。

研究の実施と運営においては、個人情報を扱うことが必須となるため、研究事務局において個人情報保護・安全管理マニュアル（ゲノム指針に準拠）を定め、研究対象者に危険・不利益が及ばないように管理を徹底する。しかし、遺伝情報は個人に固有の情報であり、いくつかの条件が揃った場合に、公開された匿名データの遺伝学的な特徴から個人を特定することが出来ないわけではない。そのことを前提に、研究において研究者が個人を特定することがないことと、遺伝情報を用いる医学研究の意義を伝え、理解を求めの方針とする。

本研究で収集した全ての対象者の遺伝情報の匿名化は愛媛大学で実施する。匿名化については、愛媛大学の規定に沿って行い、個人情報は、遺伝子解析研究を行う前に、愛媛大学大学院医学系研究科医療情報学において研究対象者の氏名、生年月日等、すなわち、個人を特定することができる情報を除去する。また、連結可能匿名化においては、対応表を個人情報管理者の下で厳重に保管する。なお、研究対象者からの情報開示が求められた場合等、再連結が必要になった場合には、個人情報管理者がその正当な理由を認め再連結の求めに応じる。この場合においても、個人情報の漏洩については細心の注意を払う。

個人情報管理者に石原謙教授、個人情報分担管理者に満田憲昭教授、個人情報管理補助者に本研究代表者及び研究分担者とする。研究事務局にて付与された個人識別番号を用いて、個人情報、質問調査票、生体試料の持つ情報等及び遺伝情報が管理されている。個人情報管理責任者において、新たな符号を用いて連結可能匿名化により、個人情報を削除した質問調査票等からの情報及び遺伝情報からなるデータを作成する。

場合によっては、研究協力医療機関の倫理審査に従い、当該医療機関において、その医療機関の対象者の遺伝情報の連結可能匿名化を行う。

9. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

研究対象者の利益としては、薄謝（500円図書カード）が得られる。また、本研究への参加により、日本における環境要因と体質（遺伝要因）の双方を考慮

した潰瘍性大腸炎の予防に関するエビデンスの構築に貢献することができる。

研究対象者に生じる負担として質問調査票への回答、記入漏れ等についての研究事務局からの問い合わせなどに対応するための時間を要することである。

遺伝子解析により、提供者が受ける不利益としては、遺伝子解析結果が外部に漏れた場合、社会における不当な差別などにつながる可能性が考えられる。しかし、潰瘍性大腸炎は単一の遺伝子の変異によって起こる疾患ではないため、遺伝子解析結果は、対象者およびその家族の疾病予防、診断、治療方針に、直ちに影響することはないと予想される。しかし、万が一の漏洩による不利益を防ぐため、個人情報、研究実施担当者に匿名化され、研究成果を公表する際には個人が特定される形では公表しないことにする。

10. 試料・情報の保管方法及び廃棄方法

調査試料は施錠可能なフリーザーで、調査情報については、電子媒体はパソコンと学内限定のネットワークで接続されているファイル共有サーバー（NAS）（外部ネットワークには接続されていない）で管理し、これらのフリーザー、パソコン及びファイル共有サーバー（NAS）は、指紋認証のある部屋に設置する。また、紙媒体は指紋認証のある部屋の施錠可能な収納庫で保管し、セキュリティ対策を万全に行う。

調査試料・情報（データ修正履歴や研究ノートを含む）は研究事務局が設置されている愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座において、登録期間終了後 15 年間保存する。研究者が交代した場合でも研究組織は継続的に保たれ、保存される調査試料・情報は適正に管理される。

その後については、連結可能匿名化を行った上で将来の研究のためや事後的に検証するために、研究事務局において長期間保存し活用する。

11. 研究機関の長への報告内容及び方法

研究の進捗状況や調査試料・情報の管理状況等について、愛媛大学医学部倫理審査委員会の規定に沿って、定期的に文書で報告を行う。

12. 研究の資金および利益相反について

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）による研究費で実施される。ただし、その他の公的資金や企業や財団からの寄付や契約（受託研究を含む）を活用する可能性もある。

愛媛大学では「愛媛大学大学院医学系研究科及び医学部等に係る利益相反ポリシー」を定めている。本研究はこのポリシーに基づいて実施する。企業や財団からの寄付や契約でまかなわれる場合は、愛媛大学医学部等利益相反専門委

員会で審議される。

本研究に基づく発明の特許として申請する場合には、申請する発明に関与した者並びに研究代表者が共同で行う。特許の帰属に関しては、関係する研究機関の規定の範囲内で、申請する発明に関与した者の間で協議し決定する。

13. 研究に関する情報公開の方法

本研究に関する成果は論文、学会発表により学術的に報告する。加えて、本研究に関するホームページを作成し、広く社会に還元する。一方、個人情報に関わることは含めない。尚、本研究は症例対照研究であるので事前に公的データベースへの登録は行わない。

14. 本研究対象者等およびその関連者からの相談等への対応

研究事務局で対応をする。(TEL: 089-960-5282; FAX: 089-960-5284; Email: epi-res@m.ehime-u.ac.jp)

15. 代諾者からのインフォームド・コンセントについて

研究参加に賛意を示しているものの行為能力に制限があり、有効なインフォームド・コンセントを与えることができないと客観的に判断され、やむをえず代諾が必要な場合は、同意書署名欄の下に代諾の理由と、代諾者の研究対象者との関わりを明記する。代諾者選定の基本的考え方は、後見人や保佐人、配偶者、父母、成人の兄弟姉妹若しくは孫、同居の親族又はそれらの近親者に準ずると考えられる者とする。

未成年者の対象者については、親権者等の代諾者からインフォームド・コンセントを受ける。

16. インフォームド・アセントについて

成人でインフォームド・コンセントを与える能力を欠くと客観的に判断される典型例として、傷病により意識不明の状態となっている患者或いは昏睡状態となっている人が考えられる。このような状態で研究に参加することは不可能である。ただし、代諾者が本研究へのインフォームド・コンセントを与える場合には理解力に応じた説明を口頭で十分に行うことを考慮する。

未成年者で、当該研究対象者が中学校等の課程を修了している又は16歳以上であり、かつ、研究を実施されることに関して、判断能力を欠くと判断されるとき、また、当該研究対象者が中学校等の課程を未修了であり、かつ、16歳未満の時、理解力に応じた説明を口頭で十分に行うことを考慮する。

17. 第 12.5 の規定について

本研究では、第 12 の 5 の規定は活用しない。

18. 研究対象者への経済的負担又は謝礼について

本研究対象者が本研究に参加することによる経済的負担はない。本研究参加に対する謝礼としてすべての回答が完了次第、500 円図書カードを送付する。

19. 侵襲による重篤な事象の対応

本研究は生活習慣等に関する質問調査票に回答し、口腔粘膜細胞（或いは唾液）を採取するのみであるので、身体的及び精神的な「侵襲」を伴わない研究である。

20. 健康被害に対する補償

本研究では、「侵襲」を伴わないので健康被害は生じない。

21. 通常の診療を超える医療行為を伴う研究による研究実施後の医療の提供

本研究は該当しない。

22. 本研究による研究対象者および子孫への受け継がれる遺伝的特徴に関する重要な知見が得られる場合の対応

解析結果の開示に関し、対象者の希望の有無にかかわらず、研究対象者個人には通知しない。特に、本研究では遺伝子解析結果を通知・開示しない方針である。潰瘍性大腸炎は特定の遺伝子の関与の程度が明らかでない、いわゆる「遺伝病でない疾患」であり、遺伝子診断を行うことは、「本研究の目的外」ということになる。また、本研究における解析の精度及び検査結果の個人への連結性の管理については、臨床検査としての個人の診断を前提としたものではなく、精度や確実性に欠けている場合があり、そのような不確かな結果は返すべきではない。つまり、本研究で得られる個人の遺伝子解析結果は、多くの場合、その人の健康状態などを評価するための情報としての精度や信頼性に乏しいため、研究対象者に知らせるに足る十分な意義がなく、むしろ無用な混乱を招く恐れがある。また、膨大な遺伝情報を適切に開示するために、その準備と遺伝カウンセリングに多くの作業量と時間がかかるため、本来の研究の実施に著しい支障を及ぼす恐れがある。

原則的に、遺伝カウンセリングは行わないが、必要な場合には、愛媛大学医学部附属病院や本研究協力医療機関など遺伝カウンセリングが受けられる施設を紹介する。

23. 本研究に関する業務の委託

本研究では、質問調査票のデータ入力は業者に委託する。研究事務局と委託先で情報漏えいに関する契約を結ぶ。

24. 将来の研究のため及び他の研究機関に提供する可能性

将来、試料・情報を研究に用いる場合は、改めてその研究計画を愛媛大学医学部倫理審査委員会に諮り、承認をうけた上で倫理指針を遵守し利用する。

本研究で収集され研究事務局に保管された調査資料・生体試料を本研究以外の研究に提供する場合（バンクや公的データベース登録を含む）、利用希望者（公的研究機関や企業など）は、調査資料・生体試料の具体的な利用目的と利用方法、期待される成果、研究費財源について記載した研究計画書を研究代表者に申請する。研究代表者及び研究分担者は研究計画書を科学性と倫理性の面から審査し、許可・不許可の決定をする。許可された研究は、愛媛大学医学部倫理審査委員会の審査を受け、承認された場合にのみ、調査資料・生体試料の提供を行う。

25. モニタリングおよび監査の実施について

本研究は症例対照研究であり、モニタリングおよび監査は実施しない。しかしながら、研究代表者と研究分担者は常日頃、適正な研究運営に細心の注意を払う。

2015年4月16日第1版

2015年6月25日第2版

2015年8月6日第3版

2015年9月16日第4版

2015年11月10日第5版

2016年2月2日第6版

2016年3月12日第7版

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業））
分担研究報告書

潰瘍性大腸炎の発症関連及び予防要因解明を目的とした症例対照研究：
質問調査票作成

研究分担者： 田中 景子 愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学 助教
古川 慎哉 愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学 准教授
永田 知里 岐阜大学大学院医学研究科疫学・予防医学 教授
研究代表者： 三宅 吉博 愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学 教授

研究要旨

潰瘍性大腸炎の発症と関連する環境要因及び遺伝要因解明のため、症例群 400 名と対照群 800 名を目標とする症例対照研究を実施するため研究計画書を策定した。

症例対照研究で最も力を入れるべきポイントは対照群のリクルートである。また、症例群、対照群に関わらず、リクルートにおける臨床の先生方の負担を軽減できるかも重要である。

これまで難病の疫学研究班が関与した症例対照研究の調査運営方法を勘案し、とりわけパーキンソン病の症例対照研究における調査運営手法を参考にした。

症例群の基準を満たす症例群の候補者に、簡単な研究の説明の後、愛媛大学研究事務局に個人情報を提供する同意を取得し、患者シートに投薬状況と重症度を記載して研究事務局に送付するという負担の少ないリクルートの運営方法を採用している。

これまでの経験上、各研究協力医療機関で対照群をリクルートすることは困難であるため、危機管理の観点で別の医療機関で対照群をリクルートできるようにした。

A. 研究目的

これまで国内で潰瘍性大腸炎の症例対照研究が 2 つの集団で実施され、各々 1 編の原著論文が報告されている。国外では一定数の症例対照研究が実施され、潰瘍性大腸炎と関連するいくつかの環境要因（Clin Epidemiol 2013;5:237-47）と遺伝要因（Ann Gastroenterol 2014;27:294-303）が報告されているが、未だ確立したエビデンスは得られていない。

本症例対照研究では、栄養摂取や喫煙曝露等の生活環境、生活習慣に関する情報を詳細に収集し新たなエビデンスを確立するため、本研究用に質問調査票を開発した。

B. 研究方法

国内外の潰瘍性大腸炎の症例対照研究を系統的にレビューした。一般的な日本人において考えにくい曝露要因は考慮せず、比較的一定頻度で見られる曝露要因に関する質問を取り入れた。また、我々がこれまでの疫学研究

で活用した質問調査票から必要な質問も取り入れた。栄養については、岐阜大学大学院医学研究科疫学・予防医学で開発された半定量食事摂取頻度調査票を活用した。

（倫理面への配慮）

本研究では、十分に倫理面の配慮をしている。

C. 研究結果

資料として開発した質問調査票を示す。

D. 考察

発症年齢が若年から老人までと幅広いため、幼少時の頃の質問など、高齢者にとって回答できない質問や未成年者には関係のないアルコールに関する質問も含めざるを得なかった。最終的に 58 ページから成る質問調査票を開発したため、未回答や記入漏れが多発すると予想されるが、研究事務局より電話で徹

底して確認することで対応する。

なし

E. 結論

詳細な質問調査票を開発できた。

**H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む)**

1. 特許取得

なし

F. 健康危機情報

なし

2. 実用新案登録

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

3. その他

なし

2. 学会発表

番号（記入不要）：

あなたの生活習慣と生活環境を知るための質問票 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業

この質問票は、厚生労働省の研究費により実施する潰瘍性大腸炎の予防要因解明のための調査の一環です。調査内容は全体として統計解析に利用するだけで、個人の調査内容を公表することはありません。ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記入には、太い黒の鉛筆を使ってください。

氏名（ふりがな）	（ ）		
生年月日（年齢）	平成 昭和	年	月 日（ ）歳
性別	男・女	血液型	A型・B型・O型・AB型・わからない
住所	〒		
電話番号①	— —		
電話番号②	— —		

今日（この質問票に答える日）の日付を記入してください。

平成 年 月 日

「記入もれ」がないように、十分注意をしてください。
記入方法がわからないところは、空白のままにしておいてください。
後日、改めてこちらからお電話にて確認させていただきます。

お問い合わせ先

〒791-0295

愛媛県東温市志津川

愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座内 疫学研究事務局

TEL：089-960-5282

FAX：089-960-5284

メール：epi-res@m.ehime-u.ac.jp

該当する答えの番号を○で囲み、()の中に記入してください。

[1] あなたの家族についておたずねします。

- あなたには血のつながった兄弟は何人いますか。すでに亡くなられた方も含みます。

兄()人 姉()人 弟()人 妹()人

- 現在の婚姻状況についておたずねします。

1. 未婚 2. 結婚・再婚・内縁 3. 離婚
4. 死別 5. その他()

- 子供さんはいますか。

1. いない 2. いる → 男()名、女()名

[2] どこで生まれましたか。また何歳までそこに住んでいましたか。

()都・道・府・県()市・郡・町・村に
生まれてから()歳まで住んでいた

[3] 今までで最も長く住んだ市町村はどこですか。また何歳から何歳まで住みましたか。

()都・道・府・県()市・郡・町・村に
()歳から(※)歳まで合計()年間住んだ

※現在も住んでいる場合は、現在の年齢をご記入ください。

[4] 現在、ひとり暮らしですか。

1. いいえ

2. はい →
- どなたと一緒に住まいですか。同居している全ての人に○をつけてください。
1. 両親 2. 兄弟・姉妹 3. 配偶者
4. 子供 5. その他(具体的に)
 - あなたも含めて、現在の同居人数は何人ですか。
()名

[5] これまで、海外で生活したことがありますか(旅行などの短期滞在は除きます)。

1. いいえ

2. はい →
- 時期、期間、国名を教えてください。
- | 年齢 | 期間 | 国名 |
|-----------|---------|----|
| ()歳～()歳 | 合計()ヶ月 | |
| ()歳～()歳 | 合計()ヶ月 | |
| ()歳～()歳 | 合計()ヶ月 | |

[6] あなたの生まれたときの状況についておたずねします。いずれの分娩でしたか。

1. 自然分娩 2. 吸引分娩 3. 鉗子分娩 4. 帝王切開

[7] あなたの生まれたときの体重はどれくらいでしたか。

1. 1500g未満 2. 1500g～2500g未満 3. 2500g～3000g未満
4. 3000g～4000g未満 5. 4000g以上

[8] あなたは母乳で育ちましたか。

1. いいえ
2. はい

- いつまで母乳を飲んでいましたか。
1. 6ヶ月未満
2. 6ヶ月～1歳未満
3. 1歳以降

[9] あなたは、保育園や託児所、幼稚園に定期的に通っていましたか。

1. いいえ
2. はい

- ()歳から()歳まで、合計約()年間通っていた

[10] 身長についておたずねします。

- 現在の身長はどれくらいですか。 () cm

[11] 体重についておたずねします。

- 現在の体重はどれくらいですか。 () kg
● 5年前の体重はどれくらいでしたか。 () kg
● 10年前の体重はどれくらいでしたか。 () kg
● いちばん体重が重かったときはどれくらいでしたか。また、それは何歳くらいの時ですか。

※女性の方で妊娠による体重増加は除きます

() kgで()歳くらいのとき

20歳以上の方のみお答えください

- 20歳頃の体重はどれくらいでしたか。 () kg
● 20歳以降で、いちばん体重が軽かったときはどれくらいでしたか。また、それは何歳くらいの時ですか。

() kgで()歳くらいのとき

[12] 今までに、あなたは就業したことがありますか。

1. いいえ
2. はい



- 6ヶ月以上勤めた職業を全てお書き下さい。仕事の内容がわかるように役職など詳しく記入してください。

期間	業種	業務内容	役職	勤務形態	交代勤務
昭和 平成 年 ~ 昭和 平成 年			1. 管理職 2. 管理職でない	1. フル 2. パート	有・無
昭和 平成 年 ~ 昭和 平成 年			1. 管理職 2. 管理職でない	1. フル 2. パート	有・無
昭和 平成 年 ~ 昭和 平成 年			1. 管理職 2. 管理職でない	1. フル 2. パート	有・無
昭和 平成 年 ~ 昭和 平成 年			1. 管理職 2. 管理職でない	1. フル 2. パート	有・無
昭和 平成 年 ~ 昭和 平成 年			1. 管理職 2. 管理職でない	1. フル 2. パート	有・無
昭和 平成 年 ~ 昭和 平成 年			1. 管理職 2. 管理職でない	1. フル 2. パート	有・無
昭和 平成 年 ~ 昭和 平成 年			1. 管理職 2. 管理職でない	1. フル 2. パート	有・無
昭和 平成 年 ~ 昭和 平成 年			1. 管理職 2. 管理職でない	1. フル 2. パート	有・無
昭和 平成 年 ~ 昭和 平成 年			1. 管理職 2. 管理職でない	1. フル 2. パート	有・無

- 就業し始めた頃（最初の1~2年くらい）のことについて、以下のそれぞれの質問に、もっとも近い回答を1つ選んで、数字を○で囲んでください。

	その通り	だいたいその通り	少し違う	まったく違う
多くの反復作業をともなっていた	1	2	3	4
高度の技術が必要であった	1	2	3	4
あなた自身で多くの決断をくだすことができた	1	2	3	4
非常に多忙であった	1	2	3	4
しなければならない仕事の量が多すぎた	1	2	3	4
技術が上達した、または新しいことを学んだ	1	2	3	4
仕事のやり方を決める自由がほとんどなかった	1	2	3	4
以下は上司や同僚がいた方のみお答えください				
上司は支持的であり、必要な時には助けてくれた	1	2	3	4
上司はあなたの利益について気を配ってくれた	1	2	3	4
同僚は、親しみやすく、たよりになった	1	2	3	4

● 5年くらい前は就業していましたか。

1. いいえ

2. はい



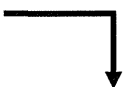
5年くらい前の就業時のことについて、以下のそれぞれの質問に、もっとも近い回答を1つ選んで、数字を○で囲んでください。

	その通り	だいたいその通り	少し違う	まったく違う
多くの反復作業をとまっていた	1	2	3	4
高度の技術が必要であった	1	2	3	4
あなた自身で多くの決断をくだすことができた	1	2	3	4
非常に多忙であった	1	2	3	4
しなければならない仕事の量が多すぎた	1	2	3	4
技術が上達した、または新しいことを学んだ	1	2	3	4
仕事のやり方を決める自由がほとんどなかった	1	2	3	4
以下は上司や同僚がいた方のみお答えください				
上司は支持的であり、必要な時には助けてくれた	1	2	3	4
上司はあなたの利益について気を配ってくれた	1	2	3	4
同僚は、親しみやすく、たよりになった	1	2	3	4

● 10年くらい前は就業していましたか。

1. いいえ

2. はい



10年くらい前の就業時のことについて、以下のそれぞれの質問に、もっとも近い回答を1つ選んで、数字を○で囲んでください。

	その通り	だいたいその通り	少し違う	まったく違う
多くの反復作業をとまっていた	1	2	3	4
高度の技術が必要であった	1	2	3	4
あなた自身で多くの決断をくだすことができた	1	2	3	4
非常に多忙であった	1	2	3	4
しなければならない仕事の量が多すぎた	1	2	3	4
技術が上達した、または新しいことを学んだ	1	2	3	4
仕事のやり方を決める自由がほとんどなかった	1	2	3	4
以下は上司や同僚がいた方のみお答えください				
上司は支持的であり、必要な時には助けてくれた	1	2	3	4
上司はあなたの利益について気を配ってくれた	1	2	3	4
同僚は、親しみやすく、たよりになった	1	2	3	4

[13] あなたは畜産業に従事していましたか。

1. いいえ

2. はい →

● 家畜は何ですか。当てはまるもの全てを選んでください。また何年間従事していましたか。

1. 牛：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

2. 豚：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

3. 鶏：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

4. その他（具体的に

：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

[14] 職業上、1週間あたり10時間以上、^{ふんじん}粉塵や有機溶媒の曝露を受けたことがありますか。

1. ない

2. ある →

● 素材は何ですか。当てはまるもの全てを選んでください。また何年間曝露を受けましたか。

1. 鉄：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

2. 鉛：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

3. 亜鉛：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

4. 銅：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

5. マグネシウム：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

6. 水銀：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

7. 木材：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

8. 石炭：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

9. 石もしくは砂：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

10. アスベスト：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

11. チョーク：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

12. 有機溶媒※：() 歳から () 歳まで合計 () 年間

※有機溶媒には、石油製品、接着剤、塗料、ドライクリーニングなどの洗浄用溶媒などがあります。

13. その他（具体的に

：() 歳から () 歳まで合計 () 年間



[15] あなたは職業上、殺虫剤、除草剤または除菌剤（防かび剤）を使ったことがありますか。

● 殺虫剤	1. 使っていない 2. 使った →	<ul style="list-style-type: none"> ● だいたい何年間使いましたか。 () 歳から () 歳まで合計 () 年間 ● 1年間のうち合計すると何ヶ月くらい使っていましたか。 ※1年中使っていた場合は(12)ヶ月とご記入ください。 1年のうち()ヶ月くらい使っていた ● だいたいどれくらいの頻度で使いましたか。 1. 毎日2回以上 2. 毎日1回 3. 週4～6回 4. 週2～3回 5. 週1回 6. 月2～3回 7. 月1回 8. 月1回未満
● 除草剤	1. 使っていない 2. 使った →	<ul style="list-style-type: none"> ● だいたい何年間使いましたか。 () 歳から () 歳まで合計 () 年間 ● 1年間のうち合計すると何ヶ月くらい使っていましたか。 ※1年中使っていた場合は(12)ヶ月とご記入ください。 1年のうち()ヶ月くらい使っていた ● だいたいどれくらいの頻度で使いましたか。 1. 毎日2回以上 2. 毎日1回 3. 週4～6回 4. 週2～3回 5. 週1回 6. 月2～3回 7. 月1回 8. 月1回未満
● 除菌剤 (防かび剤)	1. 使っていない 2. 使った →	<ul style="list-style-type: none"> ● だいたい何年間使いましたか。 () 歳から () 歳まで合計 () 年間 ● 1年間のうち合計すると何ヶ月くらい使っていましたか。 ※1年中使っていた場合は(12)ヶ月とご記入ください。 1年のうち()ヶ月くらい使っていた ● だいたいどれくらいの頻度で使いましたか。 1. 毎日2回以上 2. 毎日1回 3. 週4～6回 4. 週2～3回 5. 週1回 6. 月2～3回 7. 月1回 8. 月1回未満

[16] 最近1年間を平均して、あなたは自宅で、以下の製品をどれくらいの頻度で使っていましたか。

殺虫剤	1. 毎日2回以上 5. 週1回	2. 毎日1回 6. 月2～3回	3. 週4～6回 7. 月1回	4. 週2～3回 8. 月1回未満
除草剤	1. 毎日2回以上 5. 週1回	2. 毎日1回 6. 月2～3回	3. 週4～6回 7. 月1回	4. 週2～3回 8. 月1回未満
除菌(かび)剤	1. 毎日2回以上 5. 週1回	2. 毎日1回 6. 月2～3回	3. 週4～6回 7. 月1回	4. 週2～3回 8. 月1回未満
漂白剤	1. 毎日2回以上 5. 週1回	2. 毎日1回 6. 月2～3回	3. 週4～6回 7. 月1回	4. 週2～3回 8. 月1回未満
カーペットク リーナー	1. 毎日2回以上 5. 週1回	2. 毎日1回 6. 月2～3回	3. 週4～6回 7. 月1回	4. 週2～3回 8. 月1回未満
窓クリーナー	1. 毎日2回以上 5. 週1回	2. 毎日1回 6. 月2～3回	3. 週4～6回 7. 月1回	4. 週2～3回 8. 月1回未満
トイレクリー ナー	1. 毎日2回以上 5. 週1回	2. 毎日1回 6. 月2～3回	3. 週4～6回 7. 月1回	4. 週2～3回 8. 月1回未満

バスクリーナー	1. 毎日2回以上 5. 週1回	2. 毎日1回 6. 月2~3回	3. 週4~6回 7. 月1回	4. 週2~3回 8. 月1回未満
ドライクリーニング液	1. 毎日2回以上 5. 週1回	2. 毎日1回 6. 月2~3回	3. 週4~6回 7. 月1回	4. 週2~3回 8. 月1回未満
消臭スプレー	1. 毎日2回以上 5. 週1回	2. 毎日1回 6. 月2~3回	3. 週4~6回 7. 月1回	4. 週2~3回 8. 月1回未満
芳香剤	1. 自宅に据え置いている		2. 使っていない	
防虫剤	1. タンス等に据え置いている		2. 使っていない	

[17] あなたは生まれてからこれまでに、合計して少なくとも100本以上のタバコを吸っていますか。

1. いいえ

2. 以前、吸っていた

- ● () 歳から () 歳まで合計 () 年間
● 平均して1日に () 本吸っていた
● やめた理由は何ですか。
1. 病気をしたから
2. 病気はしないが健康に悪いから
3. その他(経済的な理由など)

3. 現在吸っている

- ● () 歳から合計 () 年間
● 平均して1日に () 本吸っている

[18] あなたは、1年以上、定期的にタバコを吸う人と同じ家で生活したことがありますか。

1. ない

2. ある

- ● 定期的にタバコを吸う人といっしょに生活したのは合計 () 年間
● その人はあなたが家にいるときに平均して1日に () 本のタバコを吸っていた(換気扇の下含む)。
● 現在、定期的にタバコを吸う人といっしょに生活していますか。
1. はい 2. いいえ

[19] あなたは、1年以上、定期的にタバコを吸う人と同じ職場にいたことがありますか。

1. ない

2. ある

- ● 定期的にタバコを吸う人と同じ職場にいたのは合計 () 年間
● その時の職場での喫煙状況についてお答え下さい。
1. 常時誰かが喫煙していた 2. 断続的に誰かが喫煙していた
● 現在、定期的にタバコを吸う人と同じ職場にいますか。
1. はい 2. いいえ

[20] 食生活についておたずねします。最近5年以内に食習慣が大きく変わりましたか。

1. 変わらない

2. 1年以内に変わった

3. 1~2年前に変わった

4. 3~5年前に変わった

- ● 変わったのはなぜですか。当てはまるものをすべて選んでください。
1. 病気になったため
2. 検査などで異常があったため
3. 健康にいいと思ったから
4. 好みが変わった
5. その他 ()

[21] ついつい食べ過ぎてしまう方ですか。

1. いいえ 2. はい

[22] 食べる速さはどのくらいですか。

1. かなり速い 2. やや速い 3. ふつう 4. やや遅い 5. かなり遅い

[23] 「朝食」は、どれくらいの頻度で食べますか。

1. 月に1回未満
2. 月に1～3回
3. 週に1～2回
4. 週に3～4回
5. 週に5～6回
6. 毎日食べる

● だいたい何時頃食べますか。また、どのくらい時間をかけていますか。
※午前や午後の時間ではなく 24 時間でご記入ください。
だいたい (:) ごろに開始し
() 分くらい時間がかかる

[24] 「昼食」は、どれくらいの頻度で食べますか。

1. 月に1回未満
2. 月に1～3回
3. 週に1～2回
4. 週に3～4回
5. 週に5～6回
6. 毎日食べる

● だいたい何時頃食べますか。また、どのくらい時間をかけていますか。
※午前や午後の時間ではなく 24 時間でご記入ください。
だいたい (:) ごろに開始し
() 分くらい時間がかかる

[25] 「夕食」は、どれくらいの頻度で食べますか。

1. 月に1回未満
2. 月に1～3回
3. 週に1～2回
4. 週に3～4回
5. 週に5～6回
6. 毎日食べる

● だいたい何時頃食べますか。また、どのくらい時間をかけていますか。
※午前や午後の時間ではなく 24 時間でご記入ください。
だいたい (:) ごろに開始し
() 分くらい時間がかかる

[26] あなたは、現在、少量（ビールコップ1杯程度）の飲酒で、すぐ顔が赤くなる体質がありますか。

1. いいえ 2. はい 3. わからない

[27] あなたは、飲酒を始めた頃の1～2年間は、少量（ビールコップ1杯程度）の飲酒で、すぐ顔が赤くなる体質がありましたか。

1. いいえ 2. はい 3. わからない

[28] 最近 1 年間、お酒（アルコール類）を飲む習慣がありますか。

1. 以前から飲まない
2. 現在、断酒している
3. 飲んでいる

● 何歳のときに断酒しましたか。
 () 歳の時

● 断酒した理由は何ですか。

1. 病気をしたから
2. 病気はしないが健康に悪いから
3. その他（経済的な理由など）

● 初めてお酒（アルコール類）を飲んだのは、何歳の頃でしたか。
 () 歳頃

● 最もたくさんお酒（アルコール類）を飲んでいたのは、何歳の頃でしたか。
 () 歳頃から () 歳頃まで

● 最もたくさんお酒（アルコール類）を飲んでいた頃の、頻度をお答えください。

1. 月に () 日くらい
2. 週に () 日くらい
3. 毎日

● 最もたくさんお酒（アルコール類）を飲んでいた頃、1日に飲んでいたお酒（アルコール類）の種類と量はどの位でしたか。全ての種類についてお答え下さい。

ビール（発泡酒を含む）	1. 飲まない 2. 大ビン () 本 3. 中ビン () 本 4. 小ビン () 本 5. 500ml 缶 () 本 6. 350ml 缶 () 本 7. その他 ()
日本酒	1. 飲まない 2. () 合 3. その他 ()
焼酎・泡盛	1. 飲まない 2. 正味量で () 合 3. その他 ()
チューハイ	1. 飲まない 2. 350ml 缶 () 本 3. その他 ()
ワイン	1. 飲まない 2. ワイングラス () 杯 3. その他 ()
ウイスキー・ブランデー	1. 飲まない 2. シングルで、グラス () 杯 3. ダブルで、グラス () 杯 4. その他 ()

その他 ()	(量を詳しくお書き下さい)
その他 ()	(量を詳しくお書き下さい)

● 今までに、1日に平均して日本酒3合以上のお酒（アルコール類）を、5年以上飲む習慣がありましたか。

1. いいえ
2. はい

※注意：日本酒3合とは

ビールなら	大ビン3本（約 1850ml）	}	に相当します。
焼酎なら	2合		
ウイスキーなら	ダブルでグラス3杯		
ワインなら	グラス 4.5 杯		

[29] あなたが、下記のそれぞれの年代で、最も長い期間、住んでいた家は次のどれにあてはまりますか。

● 10歳未満の頃

1. 一戸建て・木造系
2. 一戸建て・鉄骨系
3. 集合住宅・木造系 → () 階に住んでいた
4. 集合住宅・鉄骨系 → () 階に住んでいた

● 10歳～20歳未満の頃

1. 一戸建て・木造系
2. 一戸建て・鉄骨系
3. 集合住宅・木造系 → () 階に住んでいた
4. 集合住宅・鉄骨系 → () 階に住んでいた

● 20歳～30歳未満の頃 → この年齢に達していない場合は[30]へお進みください。

1. 一戸建て・木造系
2. 一戸建て・鉄骨系
3. 集合住宅・木造系 → () 階に住んでいた
4. 集合住宅・鉄骨系 → () 階に住んでいた
5. この年齢に達していない

● 30歳以降 → この年齢に達していない場合は[30]へお進みください。

1. 一戸建て・木造系
2. 一戸建て・鉄骨系
3. 集合住宅・木造系 → () 階に住んでいた
4. 集合住宅・鉄骨系 → () 階に住んでいた
5. この年齢に達していない

● 現在住んでいる家は次のどれにあてはまりますか。

1. 一戸建て・木造系

2. 一戸建て・鉄骨系

3. 集合住宅・木造系 → ()階に住んでいる

4. 集合住宅・鉄骨系 → ()階に住んでいる

● だいたい築後 ()年ぐらい

● 住み始めてから ()年経過

● これまで住んでいる期間に増改築または改装を行いましたか。

1. いいえ 2. はい → だいたい ()年前に行った

[30] ご自宅では、掃除機を使って 1週間あたりに何回掃除をしていましたか。

● 10歳未満の頃

居間 週にだいたい ()回くらい

寝室 週にだいたい ()回くらい

● 10歳～20歳未満の頃

居間 週にだいたい ()回くらい

寝室 週にだいたい ()回くらい

● 20歳～30歳未満の頃 → この年齢に達していない場合は[31]へお進みください。

居間 週にだいたい ()回くらい

寝室 週にだいたい ()回くらい

● 30歳以降 → この年齢に達していない場合は[31]へお進みください。

居間 週にだいたい ()回くらい

寝室 週にだいたい ()回くらい

[31] ご自宅では、エアコン（冷暖房）を使用していましたか。

● 10歳未満の頃

1. 使用していない

2. 使用していた → ● エアコン使用时、どの程度、かび臭かったですか。
1. 臭くない 2. やや臭い 3. とても臭い